

総合科目〈総合科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
日本国憲法			11329	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
浅野 宜之	選択	2				

### 授業の到達目標

この講義を通じて、学生はニュース報道などで断片的に見聞きする「基本的人権」や「統治機構」とは憲法上いかなるものであるのか、系統的に理解できるようになる。国会が制定する法律や、政府の遂行する政策には時に憲法に違反する疑いのあるものもみられる。これらについて、批判的に検討することができるようになる。KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を養うことになる。

### 授業の概要

この講義では、法律について専門的に学んだことがないという前提の下、日本国憲法に関する基礎的な知識をつけることを目的とする。講義では教科書のほか、パワーポイントとこれにもとづく資料プリントを使用する。まず日本国憲法の原理と制定過程について学んだ後、基本的人権について重要なものを取り上げ、解説する。続いて、統治機構についてそれぞれの組織を取り上げながらその活動の概要を学ぶ。

### 授業計画

1. 憲法とは何か、立憲主義、日本国憲法の基本原理
2. 平和主義
3. 人権総論、私人間効力
4. 人権の享有主体（子ども、外国人の人権）
5. 法の下での平等、幸福追求権
6. 思想・良心の自由、信教の自由
7. 表現の自由、二重の基準論
8. 経済的自由
9. 社会権総論、生存権
10. 教育を受ける権利、労働者の権利
11. 人身の自由
12. 統治機構総論、国会
13. 立法過程、内閣
14. 裁判所
15. まとめ、確認

### 授業の方法

パワーポイントと資料を使用して講義を進める。

### 準備学修

日常的にテレビ、新聞、インターネットなどでニュースにふれること。

### 課題・評価方法

平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

正当な事由あるときは、必ず連絡をすること。

### テキスト

『法学六法』（信山社）

### 参考図書

『憲法実感！ゼミナール』孝忠延夫・大久保卓司編（法律文化社）  
『憲法（第六版）』芦部信喜（岩波書店）

### 教員連絡先

必要な場合は事務室を通じて連絡するようにしてください。

総合科目〈総合科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
健康科学			11333	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
柳本 有二	選択	1	国立附属小学校教官			

### 授業の到達目標

受講生および重要な他者（保護者など）が、望ましい健康観や健康行動を獲得できるように、ウェルネス的健康観を主体とした基礎的知識を習得することを目指す。さらに、現代社会において検討すべき、高齢化および少子化に伴う諸問題を解決する糸口を、ヘルスプロモーション的な実践活動と科学的理論から探る能力を養成する。この授業では、KAISEIパーソナルのK（思いやり）およびI（知性）を養う。

### 授業の概要

講義形式で行うが、適宜アクティブラーニング（グループディスカッション）を行う。Health in All Policies（全ての政策の中に健康という視点を取り入れる）という視点から、日常生活、災害時等の緊急対応および地域活性などの中に、すべて「健康」という概念を取り入れた政策を目指すための知識を学ぶ。そして、これからの健康づくりには、どのような活動が重要かを考えていく。なお、毎授業ごとに授業に関する感想と意見を書き込む授業ノートを作成し、次授業の最初にその意見等を紹介し、学習の連続性を確保する。

### 授業計画

1. オリエンテーション. 授業の進め方を説明. グループで「論」と「学」の違いについて話し合いをする。
2. 一日一万歩の意義、ウォーキングと健康について講義とディスカッションをする。
3. Health in All Policiesという視点から、現在の健康を考える。
4. 健康づくりとして、骨の重要性について、運動、栄養および生活習慣による骨質の低下予防について。
5. 肥満と糖尿病について、最新の予防医学から検討する。
6. 子供たちの健康づくり（発育発達）について最新の科学的根拠から検討する。
7. 少子化や認知症など現代の諸問題についてその解決策を検討する。
8. ウェルネス的健康観から「よりよく生きる」という意味を考える。なお、まとめを行ってから試験をする。

### 授業の方法

毎授業ごとに授業ノートを作成し、次授業の最初にその意見等を紹介し、学習の連続性を確保する。

### 準備学修

日常や社会における健康づくりについて、新聞やメディアなどを通じて意識し、まとめておく。（Webで参照すること）

### 課題・評価方法

- 1) レポート：受講した授業内容から選択し、レポートを提出する
- 2) 評価方法：定期試験：70%、授業時の感想ノート：30%

### 欠席について

神戸海星女子学院大学の欠席条件に合わせる。

### テキスト

身体が心が嬉しくなるノルディック・ウォーク（メイツ出版）

### 教員連絡先

yyuji2004@yahoo.co.jp